

【組合の概要】

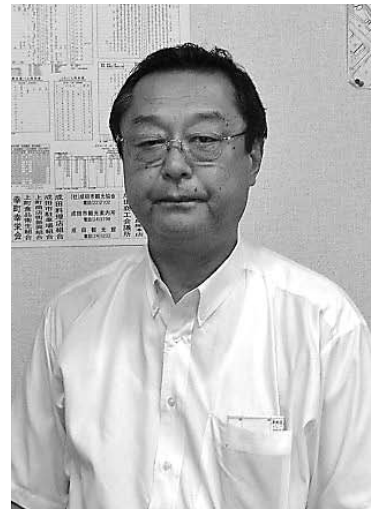
成田市上町商店街振興組合は、成田山新勝寺の表参道の中で中間部分3分の1を占める商店街である。市の表参道の電線地中化計画に合わせて平成14年に法人化された。いわゆるハード事業である商店街の環境整備のほか来街者用駐車場の管理、共同宣伝事業、共同販売促進事業を行っている。成田市上町の商業活動は門前町商店街のひとつとして、長い歴史を持って発展してきた。来年成田山は1070年祭である。そして現在、成田空港の平行滑走路の拡張工事が始まっており、周辺環境も大きく変わろうとしている。商店街は国土交通省による平成17年度都市景観大賞の「美しいまちなみ優秀賞」に選考された。全国で商店街の衰退が叫ばれる中であつて千葉県下でも有数の賑わいある商店街である。今年度から「日本一大きな声で元気に、いらっしやいませ」を言える商店街を目指している。

【理事長会社概要】

理事長は、合資会社徳利衣料店の3代目である。栗山理事長のお爺様が、佐原に本店のある徳利洋品店の成田店として出店したことに始まる。取り扱い商品は、紳士・婦人洋品・肌着・靴下・生活雑貨・学生服といわゆる洋品店で

成田市上町商店街振興組合 栗山秀太良理事長

◎くりやま・ひでたろう 昭和40年3月法政大学卒業、4月田畑百貨店（現千葉パルコ）入社。昭和42年徳利衣料店入社。平成10年代表社員。平成14年成田市上町商店街振興組合理事長。64歳。



成田市上町商店街振興組合

所在地 成田市上町503
 代表者 栗山 秀太良
 組合員数 60名 出資金 241万円
 職員数 1名

日本一の門前町を目指して街づくり

ある。

現在は顧客ターゲットを50代以上に絞り込み、「ますますきれい輝く熟年」をコンセプトに日々商売に励んでいる。当商店街も昔は生活

雑貨店が大部分であったが、現在では観光客相手のお土産物店と飲食店ばかりになってしまい、生活雑貨店は理事長の店舗を含めて僅か

3店と少なくなってしまうとのこと。営業時間は午前9時から午後6時半で年中無休である。

【栗山秀太良理事長の横顔】

栗山理事長は、現在成田商工会議所の2号議員、ロータリークラブや倫理法人会にも所属、地元でのボランティア活動にも積極的に参加しており、世話好きの人柄を感じることができる。そういう人柄だからこそ一國一城の主の集合体である商店街を纏める事がで

きるであろう。組合の話に戻ると当商店街振興組合の設立に当たっては栗山理事長の功績がとて大きい。任意商店街時代を含めると20年以上も商店会長を勤めていることになる。そして理事長を支える執行部と組合員の皆さんの結束力の強さ。幼少の頃からの友人がいる商店街の強みを感じることができる。

趣味を伺ったところ、独唱と写真とのこと、独唱は学生時代グリーククラブだったからだそう披露するのは専ら商店街の飲み会のカラオケで。写真は集合写真専門でこちらは所属するロータリークラブや鹿山会（佐倉高校OB会）、成田祇園祭で撮影すること。座右の銘は「人の心に入る。自然に学ぶ。原点に戻る。」店はお客様のためにあり、継続は力なりとは、年中無休の営業そのものであると納得できる。

